



▲上高地



松本 ✕95分

私が紹介します！

FDA 松本空港支店 瀬尾支店長



北アルプスの登山口としても有名な「上高地」は、手つかずの自然が感じられる山岳リゾート。夏は水が透き通った梓川、秋は紅葉の景色がおすすめです。また、松本は湧き水が豊富な街。環境省の「平成の名水百選」にも選ばれた水を、街の至る所で飲めます。

名古屋（小牧） ✕110分

名古屋へ行ったら外せないのが「なごやめし」。ひつまぶしやみそかつは地元で広く愛されています。

写真提供：（公財）名古屋観光コンベンションビューロー



静岡 ✕115分

富士山世界文化遺産の構成資産に登録されている「三保松原」。松林の緑、打ち寄せる白波、海の青さと富士山が織り成す風景は、歌川広重の浮世絵などで表現されています。



写真提供：静岡県観光協会

新潟 ✕105分

私が紹介します！

トキエア 客室乗務員 鷲尾さん

新潟に来たらぜひ食べてほしいのが、新潟タレかつ丼。かつを甘辛いしょうゆだれにくぐらせ、ご飯の上にのせたご当地グルメで、私も大好きです。また、新潟からカーフェリーなどで行ける佐渡は、豊かな自然と海が魅力。「佐渡島の金山」は、昨年7月に世界文化遺産として登録されました。



▲金山の掘り跡「道邊の割戸」。巨大な金脈を掘り進むうちに山がV字状に割れた姿が特徴

奥尻 ✕50分

抜群の透明度を誇る奥尻の海は「オクシリブルー」ともいわれ、夏はシーカヤックやSUPなどのマリンスポーツを楽しめます。



近くて便利！

丘珠空港 空の旅へ

昨年度の旅客数が約57万5千人と、1992年の現空港ビルの開業以来最多を更新した丘珠空港。計12路線が就航し、札幌の空の玄関口としての役割を担っています。今回の特集では、丘珠空港から行ける各地域の魅力、市が目指す空港の将来像などについて紹介します。詳細 空港担当課 ☎211-2357

秋田 ✕70分

私が紹介します！

HAC 客室乗務員 南山さん

食の宝庫・秋田の食べ物の中で、私がおすすめしたいのが比内地鶏です。とてもジューシーで、ぷりぷりな食感はやみつきですよ。他にも、いぶりがっこを使った料理や、地物の新鮮な刺身など、この土地ならではのグルメを満喫いただきたいと思います。



▲いぶりがっこを使った料理

から



就航地の 魅力をご紹介します！

丘珠空港では、北海道エアシステム（HAC）、フジドリームエアラインズ（FDA）、トキエアの定期便が運航しています。

各社の
時刻表は
こちらで
チェック！



三沢 ✕60分

航空・科学・宇宙がテーマの青森県立三沢航空科学館。約10mの高さからの滑空体験や無重力状態を楽しめる360度回転装置など、体験型の展示が豊富です。屋内外に18機の航空機の展示があり、中でもホンダジェット技術実証機の展示は世界でもここだけ！



利尻 ✕55分

栄養豊富な利尻昆布を食べて育った利尻産のウニは、ウニの中でも極上の味といわれています。



▲網走沖を航行する網走流水観光砕氷船おーろら

女満別 ✕50分

知床国立公園や網走国定公園など4つの自然豊かな公園に囲まれている空港。空港から網走や知床（ウトロ）まではバスが運行しており、冬の流水など、美しい自然を体感できます。



写真提供：（一社）なかしべつ観光協会

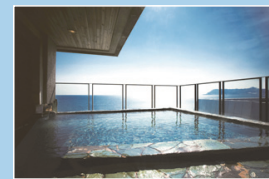
根室中標津 ✕55分

空港から車で約15分で行ける中標津町の開陽台展望館。昼は「緑のじゅうたん」とも表現される牧草地帯を、夜は満天の星を見られます。



釧路 ✕50分

空港から車で約20分で行ける道の駅「しらぬか 恋問館」は、今年4月にリニューアルオープン。海見えるサウナがあるほか、白糠町で作られたチーズや海産物なども販売しています。



写真提供：函館市公式観光情報サイト「はこがら」

函館 ✕40分

空港から車で約5分で行ける「湯の川温泉」は、北海道三大温泉地*の一つといわれています。
※湯の川温泉、定山渓温泉、登別温泉

✈ 飛行機に乗らなくても楽しめる!

絶品! 札幌黄を使った オリジナルメニュー

2階の「丘珠キッチン」では、東区の特産である幻のタマネギ・札幌黄をじっくり煮込んで作った「丘珠カレー」や、麺に練り込まれた札幌黄の風味が特徴の「丘珠拉麺」などを味わえます。

営業時間 7時～最終出発時刻30分前（フライト状況により変更の可能性あり）



札幌保健医療大学と札幌丘珠高等学校が共同開発した、札幌黄で作ったオリジナルジャムを使ったアイスとサンドも、10/25(土)までの期間限定で販売中! 1日20食限定です。

飛び立つ飛行機を 近くで見よう

3階の送迎デッキからは滑走路が一望できます。また、丘珠空港では、地上を歩いて飛行機に乗るため、ターミナルビルに近い場所に駐機している飛行機を見ることができます。



飛行機を見ながら 遊具あそびやウオーキングも

空港周辺に広がる「丘珠空港緑地」には、パークゴルフ場や遊具広場などがあります。緑地は、遊具や遊歩道を楽しめる「レクリエーション機能」のほか、樹林帯や人工的に造った山によって航空機の騒音や風を和らげる「緩衝機能」としての役割もあります。



ここでしか買えないオリジナル商品

2階の「スカイショップおかだま」では、市内咖啡店と空港のコラボ商品であるコーヒーのほか、空港限定のキーホルダーやピンバッジなども売っています。



営業時間 7時～最終出発時刻30分前（フライト状況により変更の可能性あり）



丘珠空港の ここが魅力

市街地からほど近く、旅行の予定がなくても楽しめるのが丘珠空港の魅力です。空港のターミナルビルや、空港に近接する広々とした緑地などへお出かけしませんか?

✈ 都心に近くて便利!

バスや地下鉄などの公共交通機関を利用することで、市街地から空港まで便利に移動できます。

空港アクセスをもっと便利に! 2つの実証実験を行っています

無料の臨時駐車場を開設

空港利用者向けに臨時の駐車場を開設。約30分間隔で駐車場と空港の間を往復する無料送迎車を運行中。予約不要です。

日時 10/15(金)21時まで
場所 北区篠路町太平227
※百合が原公園近く



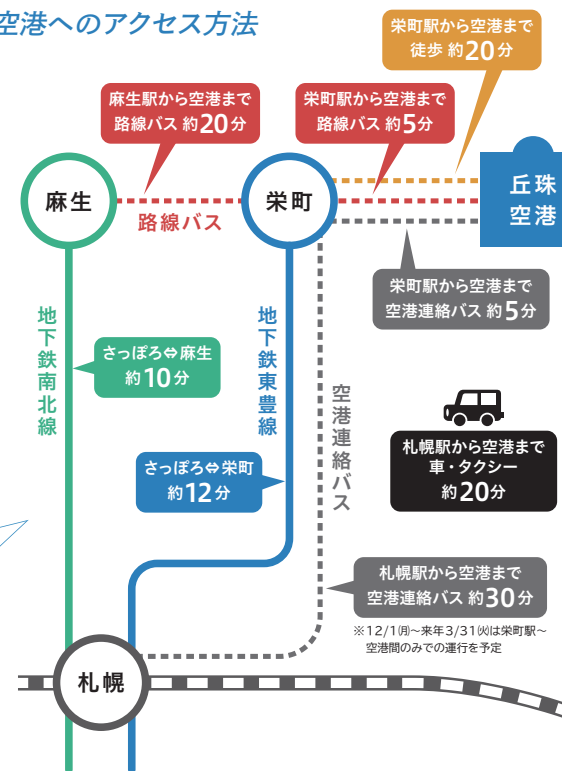
予約タクシー専用乗り場を新設

これまで空港を乗車地点として指定できなかったタクシーアプリ「GO」が利用できるようになりました。

日時 来年3/31(火)まで
(予定)



空港へのアクセス方法





● 早朝♪滑走路ウオーキング＆ HAC格納庫見学会

日時や申し込み方法などの詳細は8月上旬にホームページでお知らせします



普段は立ち入ることができない空港の滑走路やHACの格納庫をこの日限りで開放します。滑走路を歩けるほか、格納庫を見学したり、写真を撮ることができます。

ホームページ



9月開催
予定!

こんなイベントも!

● 丘珠空港フェスティバル



来年2月ごろ
開催予定!

チ・カ・ホで開催予定!
日時などの詳細は今後本誌でお知らせします

道内外の就航地のブースが大集合。それぞれの観光スポット・グルメの紹介や特産品の販売をするほか、抽選で丘珠空港の就航路線のチケットなどが当たるキャンペーンも行います。

空港の最新情報を入手しよう

● 札幌丘珠空港サポーターズクラブ

LINEの友だち登録をすると、お得なチケット情報や、空港に関する最新情報を受け取ることができます。さらに別途入会すると、スカイショップおからだまでの買い物に5%割引[※]になるなどの特典も。入会費・年会費は無料です。

※一部対象外の商品あり



● 公式Instagram

空港の日常やイベント情報、就航地の観光情報などを発信しています。



公式アカウント



読者
プレゼント

9/1(月)までに下記コードからアンケートに答えていただいた方の中から、抽選で10人にオリジナルグッズのセット(クリアファイル、ノート、フライトタグ)をプレゼントします。



市街地から近くて便利な
丘珠空港に
行ってみませんか?



丘珠空港の歴史

1942年に旧陸軍が設置した飛行場が始まりで、1958年に「札幌飛行場(札幌丘珠空港)」としての運用を開始しました。その後、1967年に滑走路を1,000mから1,400mに、2004年にさらに100m延長して1,500mとなり、駐車場なども拡張しました。

医療・防災機能の強化

ドクターヘリよりも搬送できる距離が長いメディカルウイング[※]を通年で運用することや、災害時の支援助物資などの集積・搬送拠点として活用するための備蓄庫の設置などを目指しています。

※地域の医療機関では提供できない高度・専門的医療を必要とする患者を、医師による継続した医学的管理の下、高度・専門的医療機関へ計画的に搬送する固定翼機。安定した運航で、道内の空港から1時間以内に丘珠空港へ患者を搬送できます



▲メディカルウイング



周辺地域との調和と共生

空港の機能強化を進めるに当たり、周辺地域との調和と共生が特に重要と考えています。市が策定した基本構想を基に、空港周辺地域のにぎわいの創出や環境への配慮などについて、地域の方と協議しながら進めていきます。



▲地域の方と行ったワークショップ

基本構想の内容



丘珠空港の 「これから」

一年を通して道内外との路線を運航し、市民や道民の便利で安全・安心な暮らしに貢献するとともに、さまざまな人との交流を支える拠点となる空港を目指します。

滑走路の延伸

現在は夏季のみ就航しているジェット機が冬季も運航し、一年を通して安定して利用できる滑走路長(約1,800m)とするため、滑走路を約300m延伸し、2030年の供用開始を目指しています。



ターミナル機能の強化

航空機の運航回数が増えると、駐機する機体の数や旅客数が増加するため、ターミナル機能の強化が必要に。建て替えも視野に入れたターミナルビルの拡張や、駐機場の増設などを検討しています。

就航路線の拡充

航空会社や関係機関と連携し、特に北海道との直行便がない道外の地域との路線の就航によって集客を回り、札幌をはじめとした北海道の経済活性化につなげようとしています。

1992年の現空港ターミナルビル開業以来最多!

	2024年度	将来(想定)
年間旅客数	約57.5万人	約100万人
道外の路線	6路線	10路線